
第 72 回数理社会学会大会 (JAMS72) 大会案内

日時：2022 年 3 月 12 日 (土) ～3 月 13 日 (日)

会場：オンライン (Zoom)

大会委員長：三輪哲 (東京大学)

● 第 72 回大会開催校より

開催にあたって

三輪 哲 (東京大学)

来たる数理社会学会第 72 回大会は、東京大学本郷キャンパスでの開催となります。東大が開催校となるのは、2006 年 3 月以来ではないかと思えます。そのときは、石田浩委員長のもとでおこなわれたのですが、社会科学研究所には数理社会学会会員が実のところ 2 人しかおらず、いろいろ大変だったことを思い出します。その点、いつのまにか社研だけでも会員数が 10 人近くに達しておりまして、開催する機が熟したというべきなのかもしれません。

ただ、今回も残念ながら対面形式での開催ではなく、オンライン開催となります。開催方式の意思決定をしたのは昨年晩秋でしたが、その頃は新型コロナウイルス感染状況がかなりの程度改善しておりました。一瞬、対面での開催が復活できるのではとの思いが頭をよぎったのですが、議論の末に慎重案を採択しました。時を経て本文の執筆時点では、その判断でよかったのだと思い、安堵しています。比較的、地元の銘品や観光名所などについて期待をされていなかった方が多いことと思えますので、オンラインでおこなうことで失われるものが少なめ(?)であろうことが救いなのではないかと。そうした学会大会参加に伴うお楽しみは、ぜひとも次回以降をお待ちくだされば幸いです。

数理社会学会大会の「らしさ」あるいは「よさ」が、オンラインでも十分に実現可能なことは、前 3 回の大会でも証明されたのではないのでしょうか。授業でも会議でも研究会でも、どうしてもオンラインだと発言は控えめになる傾向がうかがえますが、こと数理社会学会にかんしては、それはあまりみられませんでした。他の学会大会のように、口頭報告に対して、司会者がどうにか場をつなぐためのコメントをするような必要がありません。ブレイクアウトルームをあちらこちら行き来する萌芽セッションも、従前のポスターセッションと変わらず熱気が維持されていたように感じました。懇親会のみ例外として、素晴らしいクオリティでおこなわれていると受けとめています。

第 72 回大会も、学術の先端的潮流と出会ったり、新たな科学的発見に驚いたりなど、数理社会学会大会ならではの知的な刺激に満ちたものとなることでしょう。皆様からの意欲的なご報告を楽しみにしております。ぜひとも、第 72 回数理社会学会大会へご参加くださいましたら幸いです。

● 第 72 回数理社会学会のご案内

第 72 回数理社会学会大会は下記の要領で開催されます（プログラムをウェブ上で公開中です）。今大会では特別企画として、ワンステップアップ・セミナー「統計的因果推論入門（講師：大久保将貴先生）」が開催されます。活発で刺激的な研究交流の場となるよう、みなさまのご参加をお待ちしています。

（研究理事：瀧川裕貴）

1 期日：2022 年 3 月 12 日（土）～3 月 13 日（日）

2 会場：オンライン（Zoom）

3 参加費：

一般（会員）無料 学生・院生（会員）無料
一般（非会員）5,000 円 学生・院生（非会員）2,000 円

4 懇親会：オンライン上での懇親会を念頭に置いているため、会費はかかりません。

5 参加登録

- ・ 以下の URL に参加登録をお願いします。
- ・ 非会員の方は事前登録の上参加費を納めることで学会大会に参加していただけます。非会員の参加登録の締め切りは **2022 年 2 月 26 日（土）** です。参加登録をされた方に振り込み案内メールをお送りしますので、振り込みをお願いします。振り込みの締め切りは **2022 年 3 月 5 日（土）** です。

【非会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/H7upyGfwmuMFBu136>

- ・ 会員の方も参加人数の事前把握のために、参加予定の方は事前登録をお願いします。参加登録の締め切りは **2022 年 3 月 5 日（土）** です。

【会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/oa3sB761cpNgSthJ7>

6 参加方法

- ・ 参加登録済みの方々に対して、事前に Zoom の招待メールを登録メールアドレスにお送りします。
- ・ 会員向けには、会員メーリングリストでも Zoom の招待情報をお送りします。
- ・ 参加方法の詳細と当日の注意点についても招待メールと同時にお送りします。

7 問い合わせ先

研究事務局 〒980-0845 宮城県仙台市 青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科 瀧川 裕貴

E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3-1

東京大学 社会科学研究所 三輪 哲

E-mail: jams.meeting72[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

● 第72回数理社会学会大会時のワンステップアップ・セミナーのご案内

第72回オンライン大会前日に第22回ワンステップアップ・セミナーを、下記の要領で開催します。大久保将貴先生を講師とし、「統計的因果推論入門」についてご講義いただきます。この機会にふるってご参加ください。

1. 題目：統計的因果推論入門
2. 講師：大久保将貴（東京大学）
3. 日時：2022年3月11日（金） 15時～17時
4. 場所：オンライン（Zoom開催）
5. 内容：

統計的因果推論とは、原因と結果の因果関係を推論することを主眼とした統計的分析の枠組みの総称です。今日のデータ分析の役割が、記述・予測・因果推論の3つに分類されることがあるように、統計的因果推論はデータ分析の標準的な枠組みとなっています。統計的因果推論の分析枠組みでは、すべてのデータ分析と同様に、(i)推定したい量（集団全体の因果効果など）を定義し、(ii)定義された量を識別するために必要な仮定（条件）を考えて、(iii)定義された量の仮定を満たすように戦略をたててデータから値を計算するというステップに分かれます。本セミナーでは、こうした統計的因果推論の全体像に触れながら、(i)と(ii)を中心に解説します。

6. 目標：統計的因果推論の枠組みを理解する。

7. 扱うトピック：反事実的条件，潜在的結果，因果効果，因果効果の識別仮定

8. テキスト：スライドを配布

参考資料：

Hernán MA, Robins JM (2020). *Causal Inference: What If*. Boca Raton: Chapman & Hall/CRC.

Lundberg I, Johnson R, Stewart BM (2021). “What Is Your Estimand? Defining the Target Quantity Connects Statistical Evidence to Theory.” *American Sociological Review* 86(3): 532-565.

9. 参加費：無料

10. 定員：なし（Zoomの定員は500名まで）

11. 参加資格：会員・非会員を問わず，どなたでも参加できます。